



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 296

2021/11/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

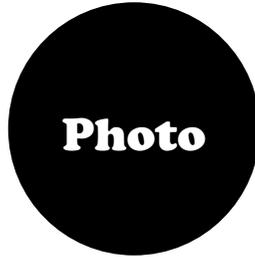
GREEN COLUMN

01. 草のふり見て我がふり直せ

02. 画材と楽しみ方は無限大



今月の一枚



「おいしい残り物」

表紙写真・文／城坂結実

美幌博物館に隣接するみどりの村森林公園では、今年もコクワの果実をあちらこちらで見ることができました。この果実は10月頃に熟して、甘く食べごろとなり、動物（人間を含む）や鳥にほとんど食べられてしまいます。時折、見逃されて残った果実は、11月の寒さにさらされ、どんどん甘みを増していきます。森のおいしい残り物です。

Event. 今月のイベント

企画展「交通安全ポスター作文展」 11月3日(水)～11月23日(火)

ロビー上映会「美幌の歴史」 11月5日(金)～11月30日(火)

プチ工房「ちりめん細工」 11月12日(金), 13日(土)

博物館講座(芸術編)「描いて、つくって-アートに触れよう!」 11月27日(土)

Information. 参加者募集

プチ工房「ちりめん細工」

●11/12(金),13(土) ①10:00開始,②14:00開始,所要時間50分(1個),作品ができ次第終了 ●美幌博物館1階講座室 ●参加費500円(2点),マスク ●鬼丸和幸(美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み(-11/11)。各回定員12名で締切。小学3年生以下は保護者の同伴が必要。定員に達しない場合は当日参加も可能です。

博物館講座(芸術編)「描いて、つくって-アートに触れよう!」

●11/27(土)9:30-12:00 ●美幌博物館1F講座室 ●参加費300円,エプロンまたは汚れても良い服装,必要な方は眼鏡,マスク ●伊藤彰規(画家) ●美幌博物館へ電話申込み(-11/26)。中学生以上～一般12名で締切。小学生の参加も可能。小学生は保護者の同伴が必要。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため,発熱がある,あるいは体調が優れない方のご参加はお控えください。各イベントは,内容の変更や中止となる場合がございます。また状況により,一時休館となることもございます。事前にお電話でお問い合わせの上,ご参加ください。

今月の休館日

● ●
1日, 4日
8日, 15日
22日, 24日
29日

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用,持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN グリーンコラム

草のふり見て 我がふり直せ

写真・文／城坂結実



今年の7月。うだるような暑さの折に、腰を痛めました。いわゆるギックリ腰です。直接的な原因はわかりませんが、野外調査の際、ふとしゃがんだ拍子に腰に痛みがはりました。それからというもの、寝ていても座っていても、車の乗り降りですえ腰が痛く、つらい日々が1ヶ月ほど続きました。病院でレントゲンを撮ってもらっても、特に異常はないとのこと。自分の体で何が起きたのか不思議でした。

そんな中、病院と整体の先生方に言われたのは「体の柔軟性は大事」ということでした。そういえばこれまで、登山やカーリングなど激しい運動をする前に、柔軟体操をすることはありましたが、せわしない日々の生活の中でそれを意識して行うことはありませんでした。“柔軟性がなくなると体に痛みが出るらしい”と、ぼんやりと考え

始めたころ、脳裏をよぎったのが草や木といった植物のしなやかさです。植物にゆっくりと力をかけると、その方向にシなって、折れずにいることはよくあります。写真は、体の大きなアカマルハナバチの女王バチがエゾエンゴサクの花につかまった途端に、茎からシなって、落ちそうになっているものです。

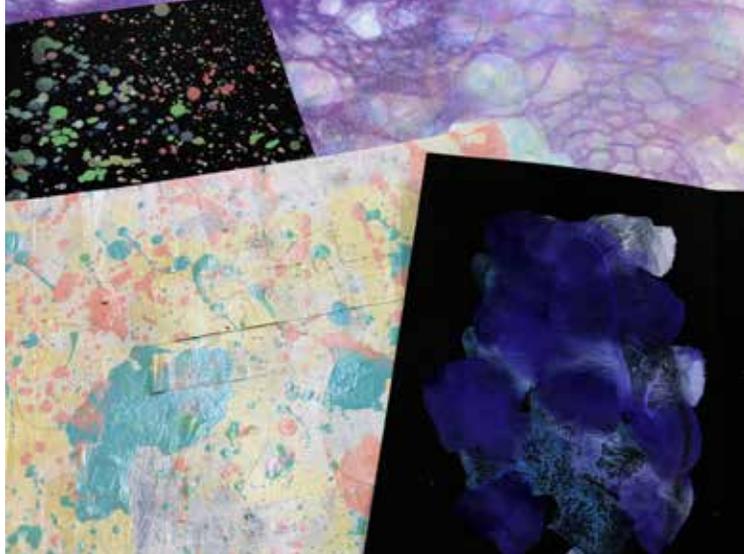
このように植物がしなやかな状態を保っていられるのは、どうしてでしょう。生きている植物の細胞は、十分な水分で満たされているため、細胞壁がしなやかな状態にあるそうです。また逆に、細胞が乾燥すると、固くなり折れやすくなるのだそう。自身の行動を振り返ってみると、野外調査の際、水分を摂るのを忘れがちだったような…。植物のしなやかさの仕組みが、人間にそのまま当てはまるのかはわかりませんが、水分補給と柔軟運動の大切さが胸にしみた出来事でした。

02 GREEN COLUMN

グリーンコラム

画材と楽しみ方は無限大

写真・文／久保田結衣



絵や何か作品をつくる際、どんな道具を使ったらいいかわからない、という声をよく聞きます。油彩や水彩などであれば、画材は限定的になりますが、技法にこだわらなければ、画材は無限に存在します。

例えば、身近にある道具でアートを楽しむ「モダンテクニック」では、絵の具を紙にのせ合わせる「デカルコマニー（合わせ絵）」というものがあり、簡単に作品づくりができます。耳にする機会の多い「コラージュ」は、異なる素材や模様を組み合わせて作品をつくることを言います。必要な画材は、好きな写真や雑誌の切り抜き、ハサミ、のりさえあればOKです。コラージュから転じて廃材やさまざまな部品を合わせた作品などもあり、自由な発想・幅広い年代でアートが楽しめます。

また、絵の具そのものも、植物や土を擦ったり削ったものから作ることが

できます。絵の具作りは色の素となる「顔料」と、定着させる「展色剤」が必要ですが、顔料に当たるのが植物など色がついたもので、展色剤は、でんぷんのりで代用できます。長く保存するのであれば、専門的な道具が必要ですが、楽しむことが目的であれば、こちらでも十分です。

とても紹介しきれないのですが、他にも、筆の代わりに指で描く「フィンガーペイント」や、少量の洗剤と水に絵の具を混ぜシャボン玉を作り紙に垂らす「シャボン玉アート」もあります。アートの楽しみ方に、特別な画材は必要なく、身近にある道具でも気軽に触れることができます。芸術の秋！と言ってももう終盤にさしかかっていますが、楽しく体験してみたいでしょうか。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実・八重柏誠

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/museum/>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



先日お鍋を食べたいな〜と思いスーパーで素を眺めていたら、好きなラーメン店とのコラボ商品を発見！早速購入しお鍋を楽しみました。シメにおじや、さらにうどんを食べましたが、どれもおいしくて幸せなひと時でした♪（久保田）